

古立 憲昭 議員

行政改革と災害廃棄物について一般質問にて3項目を問う。①本町の行政改革としてDX（デジタルトランスフォーメーション）とマイナバーを活用した「マイナポータル」の取り組みを問う。②中央官庁の「行政手続きの押し廃止」を受けて本町に於いての取り組みを問う。③災害時に発生する廃棄物について、生活ごみとがれき処理に分け、臨時集積場を設けてどのように対応されるかを問う。意見書、「不妊治療への保険適用の拡大を求める」を提案し、賛成多数にて可決し国へ提出しました。

西川 六男 議員

①コロナの検査を希望すれば誰でも身近な病院で受けることができる体制作りを、国や県が全力で取り組んでおり、県下の多くの市町村が検査体制を作ってきています。本町でも町民や職員に感染が広がっています。国保中央病院と話し合い、早急に検査体制をつくる事を、9月議会に引き続き求めました。②園・学校の危険な53カ所を、子どもが事故に巻き込まれないために町のお金を何よりも最優先で使い、早急に修理する事を森町長に再度求めました。③

今秋のウンカの被害を受けた農家に、町が災害救済を行う事を求めました。

吉田 容工 議員

保育園待機児について質しました。令和2年度は57人が待機されていました。来年はすべて入園できるのか？と聞いたところ、70人が入れないという答弁が返ってきました。本町には20代、30代の若い世帯が引越してきていること、これからも住宅開発が各地で計画されていることから受け皿である保育園をどう確保するのか質しました。町からは令和4年度中に新たな保育園を整備するという積極的な答弁がありました。民間保育園を誘致するそうですが、時間があります。令和4年度に開園できるか注視していきます。

植田 昌孝 議員

今期定例会では本町における2025問題や自殺者・自死者の対応策、ため池の利活用について質問しました。2025問題では税収が減少する可能性があるため、国体会場の整備用地や県立大学新学部の施設用地等、大和平野中央プロジェクトにおいての土地利用を推進すること。また、ため池の利活用についてもこのプロジェクトを含めて地元地権者の同意があれば検討したいとのことでありました。総

務文教委員会では田原本町債権管理条例について、債権の放棄を議会の議決事項から報告に変更することについて議員間で討議をした結果、次回定例会まで継続審査になりました。

松本 美也子 議員

①中学3年生までの子ども医療費及びひとり親家庭の医療費の窓口負担の軽減並びに拡充について（答）県においては国保交付金の減額措置の期間は市町村単独での現物給付方式の導入は認められないとされているため、現状では実施できない。（社会保険も同様）国県へ引き続き要望していく。②3歳児健診における視力検査において、弱視を早期に見つけるための取組について（答）検査機器を補足的に導入することについて調査研究を行う。再質問にて、弱視の治療は6歳をすぎると視力の回復に影響があるため、早急に導入することを強く訴える。

小走 善秀 議員

一昨年度に発注した、学校の空調設備設置工事の設計業務委託について、履行期限内に業務が完了せず遅延したため、空調設備設置が遅れ、レンタルエアコンを導入せざるを得なくなり、約2300万円の損害が発生した。この事で、損害賠償訴訟

を起こしたが、請求を棄却された旨の報告があった。弁護士費用等を尋ねると40万円余りとの事。結果約2300万円と更に40万円余の損害を被ったことになる。裁判結果が出たから終わりではなく、業務を履行期限内に終わらせる指導、管理が出来ていなかったのではと指摘し改善を要望した。

藤井 誠人 議員

一般質問4点①図書館の今後の発展への提案。まちづくり拠点となる運営を目指す。②学校での色覚特性者（男性20人に1人）への配慮を問い、全員が見易いチョークの導入プレゼンをし、全校に順次導入と回答。③環境推進事業SDGsゴール11を目指したボランティアが使うゴミ袋導入の提案。新年度予算計上と回答。④待機児童問題を問う。①教育・保育の量の確保の方策を問う、企業誘致や定住促進等鑑み整備し国等の補助を活用と回答。②保育所開設について問い、業者公募を始め、事業に係る補助金についても新年度予算に計上するとの回答を得た。議会を傍聴してみませんか

次回定例会は、3月上旬に開催予定です。

☎ 議会事務局（☎34・2119）

議会だより

令和2年 第4回定例会

発行 田原本町議会
編集 議会編集委員会

令和2年田原本町議会「第4回定例会」が12月4日から14日まで11日間の日程で開かれました。
一般質問では8名が町政全般について理事者の考えを質しました。町議会ホームページにて「一般質問通告一覧」をご覧ください。

議案概要



《報告を受けた案件》

○町長の専決事項の指定についての報告

社会福祉協議会貯留工事に伴う臨時駐車場乗り入れに発生した車両損害事故に係る賠償金額の決定。

《可決した議案》

○一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の専決処分の報告（賛成多数）

令和2年人事院勧告等に準じ、期末手当支給率を令和2年12月支給分から、一般職・議会議員等について年間0・05月分、町長等について年間0・1月分引き下げる等の改正を行うもの。

○令和2年度田原本町一般会計補正予算（第7号）（賛成多数）

補正予算額は1億4594万1000円の増額で、主な補正内容は人事院勧告

等に伴う期末手当支給率の改定並びに人事配置等に伴う人件費の減額。増額としては民生費で、田原本小学校学童保育所の1クラス増加に係る整備費用、宮古保育園に併設される学童保育所の整備・運営に係る補助金など。衛生費で、高齢者インフルエンザ予防接種の委託料の増額、新型コロナウイルスワクチンに係るシステムの改修及び個別通知の経費。教育費で、中学校の特別教室の空調設備の整備及びGIGAスクールポーターの業務委託に係る経費。

これらに伴い国庫支出金、県支出金、町債及び繰越金の歳入補正を行うもの。繰越明許費補正は、小・中学校のトイレ整備、中学校の空調設備整備について、事業費を令和3年度に繰り越すもの。債務負担行為の補正は、自転車駐車場、ふれあいセンター及び学童保育所の指定管理料、こどもの健康育成

事業委託料、東京2020オリンピック

ク聖火リレー奈良県実行委員会負担金で限度額を定めるもの。

地方債補正は、中学校空調設備整備事業を追加するもの。

○令和2年度田原本町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）（全員賛成）

補正予算額は、30万3000円の減額で、人事院勧告等に伴う期末手当支給率の改定並びに人事配置等に伴う人件費の減額、一般被保険者保険税還付金を増額するもの。

○令和2年度田原本町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）（全員賛成）

補正予算額は398万4000円の増額で、人事配置等に伴う人件費を増額するもの。

○令和2年度田原本町介護保険特別会計補正予算（第1号）（全員賛成）

補正予算額は、515万1000円の増額で、人事院勧告等に伴う期末手当支給率の改定並びに人事配置等に伴う人件費の減額、介護保険報酬改定等に伴うシステム改修費を増額するもの。

○令和2年度田原本町下水道事業会計補正予算（第1号）（全員賛成）

収益的収入は、下水道使用料を1806万円増額し、収益的支出は、流域下水道維持管理負担金及び職員人件費等を1421万1000円増額す

るもの。

○田原本町議会議員及び田原本町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例（全員賛成）

公職選挙法の改正に伴い、町議会議員及び町長選挙における立候補に係る環境改善を目的に、選挙運動用の自動車の使用並びにヒラ及びポスターの作成費用に対する公費負担に関し、必要な事項を定めるために制定するもの。

○田原本町地域経済牽引事業の促進に係る固定資産税の課税免除に関する条例及び田原本町企業立地促進条例の一部を改正する条例（全員賛成）

地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化に関する法律等の改正に伴い、条文の整備を行うもの。○田原本町国民健康保険税条例の一部を改正する条例（全員賛成）
地方税法施行令の改正による個人所得課税の見直しに伴い、国民健康保険税の減額基準の改正を行うもの。

《採択とした意見書》

第4回定例会で採択とした意見書は以下のとおりで、関係団体へ提出しました。

意見書	提出議員
不妊治療への保険適用の拡大を求める意見書（賛成多数）	古立憲昭議員

○田原本町後期高齢者医療に関する条例及び田原本町介護保険条例の一部を改正する条例(全員賛成)
地方税法等の改正に伴い、条文の整備を行うもの。

○田原本町立体育館条例の一部を改正する条例(全員賛成)
スケートボードパークに係る使用料を、新たに設定するための改正を行うもの。

○田原本町道路線の認定及び一部廃止について(全員賛成)
田原本町道路線を新たに阪手53号線他2路線の認定及び三笠15号線他1路線の一部を廃止するもの。

○指定管理者の指定について(全員賛成)
田原本町田原本駅前自転車駐車場及び田原本町笠縫駅前自転車駐車場の指定管理者に、ミディ総台管理株式会社(大阪市)を指定し、指定の期間を令和3年4月1日から令和8年3月31日までとするもの。

○指定管理者の指定について(全員賛成)
田原本町ふれあいセンターの指定管理者に、社会福祉法人 田原本町社会福祉協議会(田原本町)を指定し、指定の期間を令和3年4月1日から令和6年3月31日までとするもの。

○指定管理者の指定について(全員賛成)
田原本町債権管理条例



このコーナーは本定例会での発言等に基づいて、各議員の責任により原稿の提出を受けたものです。

竹邑 利文 議長

12月定例会は10月に役員改選した後の初の定例会となり、21件の案件を慎重に審議し、議決するとともに、8名の議員が一般質問により町政を質しました。債権管理条例については、様々な観点から論点を整理し議員間の理解を深めるとともに、議会としての説明責任を果たすことを目的に、総務文教委員会で議員間討議を実施し、更に議論を深める必要があるという考えから、継続審査となりました。

また、今定例会に先立ち開催した会議において、議員定数についても議題に上がり、今後も現在の定数14名を維持することが確認されました。

梶木 裕文 議員

一般質問にて①旧清掃工場跡地調査結果について②結婚支援について質問。旧清掃工場跡地調査結果では採取した土壌の分析結果の速報値は法律で定める基準値内、廃棄物の有

田原本町児童保育所の指定管理者に、特定非営利活動法人子育てすこやかサークル(橿原市)を指定し、指定の期間を令和3年4月1日から令和6年3月31日までとするもの。

○奈良県広域消防組合規約の変更に
ついて(全員賛成)
管理者、副管理者等の人数及び選任方法、附属機関、経費の負担等について、所要の変更を行うもの。

○天理市、山添村、川西町及び三宅町一般廃棄物の処理事務委託に関する規約の変更について(全員賛成)
田原本町浄化センターの老朽化等により、天理市に委託して、し尿等処理を開始することに伴い、変更するもの。

《同意した人事案件》
○固定資産評価審査委員会の委員の選任につき議会の同意を求めることについて
氏名 森岡康憲氏
任期 令和2年12月23日から令和5年12月22日

○教育委員会の委員の任命につき議会の同意を求めることについて
氏名 眞田和則氏
任期 令和2年12月23日から令和6年12月22日

《継続審査とした案件》
○田原本町債権管理条例

無については調査12地点中11地点で確認済み。今後専門家の意見を聞きながら廃棄物の処理について検討したいとの答弁。結婚支援については、経済的な問題で結婚に踏み出せない若者を後押しできる国の補助事業、結婚新生活支援事業(令和3年度より補助上限額が30万円から60万円に拡充予定※要件あり)の見解については前向きに検討するとの答弁。

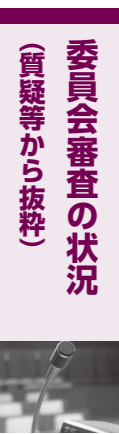
山田 英一 議員

スポーツ振興計画の策定について一般質問を行いました。平成23年「スポーツ基本法」が施行、つづいて平成24年に国の「スポーツ基本計画」が策定されました。その法律には「その地方の実情に即したスポーツの推進に関する計画を定めるよう努めるものとする。」と規定されていますが、本町ではまだ策定には至っていません。この計画は、本町が住民に対する生涯スポーツへの姿勢や指針を計画する上での重要な考え方の基本となるものです。早期の計画策定を求めた結果、町長より「策定する。」と答弁がありました。

寺田 元昭 議員

12月定例会では人事院勧告に伴う職員等の期末手当支給率の改正が可決されました。新型コロナウィルス

慎重に審査する必要があることから、継続審査とした。



《総務文教委員会》

質問 田原本町債権管理条例について、債権放棄に関して、従来議会の議決が必要であったのが、議会への報告に変わった理由は。また、現状の債権の管理はどのようにしているのか。
回答 個人情報保護と効率的な処理を進めるため、議会への報告とした。また、各課で台帳等により債権を管理しているが、条例を制定することで、統一的な管理を行いたい。

経過 委員会で議員間討議を行い、慎重に審査する必要があることから、全員賛成で継続審査とした。

質問 指定管理者の指定について田原本駅前自転車駐車場は、満車になるケースがあるが、拡張する計画はないか。また精算機等、機械の導入による料金の変更はないのか。
回答 現在は一定の余裕はあるが、そのような状況になれば、対策をとっていきたい。また、料金に変更はない。

《厚生建設委員会》
質問 天理市、山添村、川西町及び

感染症の拡大による休校や外出の自粛、テレワークの拡大など大きく社会が変わった1年でした。社会状況を考えると支給率の低下はやむを得ないと考えます。中学校においては特別教室の空調設備設置のための予算が可決され、令和3年5月設置の予定です。田原本駅前と笠縫駅前の自転車駐車場に令和3年度より自動ゲートなどが導入されスムーズな利用ができるようになります。本年もより良い町にするため頑張りたいと思います。

村上 清司 議員

令和2年最後の定例会において、大和平野中央プロジェクト実現に向けての今後の協議内容、スポーツ施設や教育施設の整備等、今後の田原本町の地域活性化に寄与される拠点整備を積極的に進められるとのことであります。そして、田原本駅前・笠縫駅前自転車駐車場指定管理者がミディ総合管理(株)に変わること、コロナウイルスの問題で利用者の激減による、人件費を含む管理料の問題定義となり、管理自体の機械化による人件費の削減等が、今後の田原本町の財政への少しですが負担軽減に繋がっていくと、田原本町の努力を感じました。

森井 基容 議員

三宅町一般廃棄物の処理事務委託に関する規約の変更について、天理市へのし尿等の搬入は10年後には見直す必要があると思うが、どう対応するのか。
回答 4首長と会う機会があるので、10年後をどうしていくのか話をさせていただく。あらゆる選択肢を積極的に考えていきたい。

質問 令和2年度田原本町一般会計補正予算について、宮古保育園に併設される児童保育所の対象校区と、定員を20人としているが、超えた場合はどうするのか。
回答 田原本・北小学校の児童を対象とされる予定。定員以上の入所申込があった場合、法人で入所基準を作り対応されると考えている。

町議会ホームページをご覧ください

町議会ホームページでは、町議会のしくみや会議録など議会について情報発信しています。過去の議会だよりも見ることができます。

総務文教委員会において、所謂「土砂災害警戒情報」について、従前より本町はその対象ではないことを確認し、正確な情報が発せられるよう指摘し、結果として本年は是正されることでしたが、先日「土砂災害警戒情報」が発せられたこともあり、現状についての説明を求めたところ、大雨被害等の影響により対応が遅れており、来年度には本町が対象より外れるとのことであり、町民の皆さんに余計な不安を抱かせることとはないと説明を受けました。ようやく、不正確な情報に惑わされることがなくなりそうです。

安田 喜代一 議員

「天理市、山添村、川西町及び三宅町一般廃棄物の処理事務委託に関する規約の変更について」の議案に賛成し可決されました。本町のし尿・汚泥の処理を行っている黒田の浄化センターの老朽化等により、令和3年4月より天理市に委託し処理を行う内容です。複数市町村での業務共同化は、人材・財政面等でメリットがあり、本町でもごみ処理や消防等の業務ですで行われています。業務を広域化で行うには本町だけでなく他の市町村との調整・協議が不可欠と考えます。計画的な取り組みを求めています。